



國際假面劇

世界平和と云ふ假面の下に軍縮會議が生
れ、國際聯盟が組織せられた。開會の度毎

に主我的利己的暗闘が演ぜられ、航空力の

制限を主張するもの、潜航力の發達を阻止せんとするもの、毒瓦斯の禁止を論ずるもの、特科兵の活動を制限せんとするもの等々他の軍力を制し自己の軍力の強大を謀る

せんとするもの、毒瓦斯の禁止を論ずるもの等

類へと進み遂に人類の二足體となつた即ち、平面的から立體的へと進化した、それで住居の構造も一階二階から五十階六十階摩天樓へと進みつゝある、交通機關も亦同様で路面交通汽車汽船自動車と云ふ機關も航空機は止んでも尙ほ亂舞する、東洋の二代表

○動物進化の跡を尋ねると爬虫類から四足類へと進み遂に人類の二足體となつた即ち、平面的から立體的へと進化した、それで住居の構造も一階二階から五十階六十階摩天樓へと進みつゝある、交通機關も亦同様で路面交通汽車汽船自動車と云ふ機關も航空機は止んでも尙ほ亂舞する、東洋の二代表

舞者は果然とする、大國側は第二の脚本製作に取りかゝる、次回の假面劇や果して如何なる場面を現出するであらうか。(H.S.)

立體か平面か

○動物進化の跡を尋ねると爬虫類から四足類へと進み遂に人類の二足體となつた即ち、平面的から立體的へと進化した、それで住居の構造も一階二階から五十階六十階摩天

樓へと進みつゝある、交通機關も亦同様で路面交通汽車汽船自動車と云ふ機關も航空機は止んでも尙ほ亂舞する、東洋の二代表

暹羅の憲法

○環境に依つて奇妙ならざるものも奇妙に感ずるものがある、昭和七年十二月十日發布した暹羅國憲法も其一例である、今其條

項中特に吾々日本人として感ずるものは第

二條に主權の淵源は暹羅國民にあり國家の

元首たる皇帝は此の憲法の條項に遵ひて主

權を行ふとありて第三條に皇帝は神聖にして

て侵すべからずと規定す又第四條に皇帝は

佛教を信奉すべし皇帝は宗教の擁護者とす

とあるに第十三條には一切の人は如何なる

宗教又は教義をも信奉し且つ其の信仰に伴

クノクラシズムもファーリード式も一向に効能が現はない、慘憺たる米國の現状を見よ平面的經濟策の破綻を、平面的政治經濟は清算の時期に達した、人間生活は停頓か衰頹か將又崩壊か之れが救濟の方策や如何東洋の平和を絶叫する大和民族よ、立體の方策を樹てよ、茲に或邦同胞の三省を庶幾ふのである。(R.S.)

ふ禮拜の儀式を行ふの完全なる自由を有す
但し國民の義務又は公共の秩序若は公衆の
道義に違背せざるを要すとある。尙又其第
五十一条に國務院は人民代表議會が其の不
信任を決議したるとき若は其の信任を決議
したる議會が存在せざるに至りたるときは
全院辭職すべし云々とあつて我邦内閣大臣
は帝國議會の不信任決議に依りて總辭職す
べしと云ふに同じ彼我憲法の根基を異にす
る處大なりと云ふべきである。(丘生)

一日一家言

某雑誌の一日一家言子は曰く「働いて惡

口を言はれ遊んで居れば評判のよい階級を

知つて居る人は天國に入る事を得」とその
事を知つておる者は何處に行くか鐵道省か

又曰く「兵器と運搬具との自動車の別を知

るものは勝つ事を得る」と自動車を運搬具

のみに利用せんとする人は夫れ昇級か、若

し夫れ「愛國の鞭を知り得たる産業家」は

松澤村に其の身を終るべし、省管自動車は

七年後に三千百糸弱となることを知りて之
を嘆く人は面壁九年で勤任官たるべし、
行春將に終らんとして梅花暗香を漂はせる
の時を追憶し三尺の秋水腰間に在りと眉や
かすことを知る人は幸ひなり其人は柔道六
段の手腕を振ふことを得べければなり、借
問すギヤングを不間に付し經濟充實の方法
を講ずるに於て一家言の價値インフレーション
に左右せられざるを知れるか。(日本
交通生)

流し圓タク車内の鞄

流す圓タクは東京でも大阪でも目まぐら

しい、田舎人ならずとも交通危険を極度に

感ぜしめるゝ、だが此流し圓タクを器用

に利用し流轉の限りを盡す田紳もあるから

都會人たる者夢油斷するべからず、或大阪

の某屋に衣類や貴重品や文書類などをいれ

た數個の鞄を携へた一紳士が到着した、隨

行者はなし出迎て呉れた一友人と忽ち流し

圓タクの人となつて意氣ヨウノと書藉店

から百貨店劇場料理店等々と流轉して遂に
某旗亭の客となり同行の友人に依頼して一
旅館に鞄のみを届けて貰つた、翌朝貴重品
入の鞄が紛失したとの電話で友人は忽ち朝

寝の夢を破られた、スワ一大事と百方詮議
すれども皆目辨らない唯東北の空を眺めて
撫然たるものであつた。流し圓タクの運轉
手は旅館に顯はれて昨夜ガレーデに歸つて
見ると之れこの鞄、貴館の客のものであ
ると小型の鞄を差し出した……君オゾレよ
ウム次に上京した時にネ、友人の飲み得た
酒幾杯か鞄も流轉、身も流轉、圓タク流す
浮世かな。(浪花ウラミ生)

本欄を利用してかくれた奇想天
外的資料を發表せられたい。乍

併治安と風俗と個人攻撃に涉る
事柄は絶対に掲載せず、投稿は

四百字位とせられたく取捨は編

意

輯係に一任のこと、原稿は道路
の改良編輯部宛とせられたい。